

事業所名	グループホーム 第二朋寿 ※
日付	平成19年8月3日
評価機関名	特定非営利活動法人 高齢者・障害者生活支援センター
評価調査員	介護支援専門員・介護福祉士・認知症ケア専門士 訪問介護員
自主評価結果を見る	リンク
評価項目の内容を見る	リンク
事業者のコメントを見る（改善状況のコメントがあります！）※	リンク

2. 評価結果（詳細）

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	<p>グループホームとしてめざしているものは何か</p> <p>理念「私たちは、出会いを大切に 笑顔あふれるホームづくりをめざし 地域社会に奉仕します」今年度の方針「あつという間の一年だから あつという間の今日だから たくさんの笑顔を見て たくさんの感動をモットーに 私たちは頑張ります」を掲げ、入居者一人ひとりに合った介護で、その人らしさを大切に生活を支援し、元気で家庭的なグループホームを目指している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護への取り組みや心がけを標語にして職員の意識向上に努めている。 ・食を大切に生活と健康管理に努め笑顔を大切に生活の対応に取り組んでいる。 ・他のユニットとの交流も自然にできている。 ・医療機関との連絡体制ができている。 		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	<p>入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2階・3階・4階各ユニットのリビングが入居者の集会場になっており、自然に集ってそれぞれが自分にあった過ごし方が出来る様な支援をしている。 ・屋上で外気浴や園芸活動などで閉塞感への防止に努めている。 ・共用空間や居室は手作りの温かさや家庭的な雰囲気作りがされており、落ち着いた日常生活への取り組みがなされている。 		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人で行えることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

1. 評価結果の概要

講評
<p>全体を通して（特に良いと思われる点など）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新倉敷駅北口から近く、交通の便もよくわかりやすい場所にある。ビジネスホテルを改修した建物で、火災探知機・スプリンクラー・消火器等防火設備が整っている。 ・協力医療機関（内科・心療内科・歯科）も整っている。受診・往診、入院はもとよりホームでの指導・支援（居宅管理指導）も行われており入居者の健康管理と予防に取り組んでいる。 ・日々の食事には無農薬野菜を取り入れるなど健康への関心が高く、施設内には温泉（生体活性作用が高いとされる薬石光明石）設備もあり入浴の楽しさと心身の疲労回復に役立っている。又血中酸素濃度・血糖値を測る機器も揃っており看護師を配置する等医療面での充実も図られている。 ・運営推進会議（家族・地域包括・老人クラブ・介護相談員・他のグループホーム）による様々な支援がされており、家族の参加による空き缶を集めて車いすと交換する取り組み・家族による散歩の声かけ・老人クラブ参加のカラオケ・介護相談員の訪問など地域に開かれたホームへの取り組みがなされている。 ・グループホームの他にデイサービス・訪問介護・居宅支援事業所・介護付マンション・障害者デイサービスなどの併用施設があり福祉のノウハウも充実していて柔軟な対応ができています。
<p>特に改善の余地があると思われる点</p> <p>特にありません。これからも地域に開かれたグループホームの発展と外部研修の充実を期待しています。</p>

III ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切に生活の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	<p>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入居する際に生活歴・趣味・嗜好・現状等を把握している。 ・その人らしく暮らせる環境作りと、個々の能力に合わせた支援に取り組んでいる。 ・洗濯を自分でする・杖を突きながら自分の部屋を掃除する・自分たちで水加減をして好みの硬さのご飯を炊く・花を生けるなど個々の生活習慣を支援しながら共同生活の中でのプライバシーの保護にも努めている。 		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	<p>サービスの質の向上に向け、目頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常的に内部研修を実施し、介護技術など、質の向上に努力している様子が窺えました。介護マニュアルも作成し、職員間の情報交換・伝達も密になされています。 ・運営推進会議での評価や意見を取り入れて入居者のサービスの向上に向けた取り組みがなされている。 ・今後内部研修だけでなく、外部研修にも意欲的に参加し、さらなるサービスの質の向上に繋げていけることを期待しています。 		